

11. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (沖縄)	良く なっている	家電量販店（総務担当）	販売量の動き	・消費税増税前の駆け込み需要が本格化している。
	やや良く なっている	一般小売店〔菓子〕	販売量の動き	・入域観光客数などが前年を上回っているため、その数につられて販売量が増えている。
		観光型ホテル（マーケティング担当）	販売量の動き	・客室稼働率の前年同月実績からのプラス幅は、3か月前に比べ大きくなっている。
		旅行代理店（マネージャー）	来客数の動き	・出張や個人旅行の人数が増えているが、それも3月までだとみられる。4月からは一度落ち着くのではないか。
		通信会社（店長）	販売量の動き	・他社からの乗り換えが多く、販売数が前年を大きく上待っている。商品の話題性とキャッシュバック施策の効果とみられる。
		観光名所（職員）	来客数の動き	・国内の募集ツアーが悪い。しかし、円安の影響で訪日外客数と国内の個人旅行がカバーしている。
		ゴルフ場（経営者）	来客数の動き	・基本的に利用客が増えてきているが、単価が少し落ちているのが懸念される。ただ、相対的には以前よりは良い方だとみている。
		住宅販売会社（総務・企画分野）	お客様の様子	・住宅展示棟などへの来場者数は前月と同程度で、商談は順調に進んでいると思われる。また、消費税増税に間に合う建売棟については、予約や商談が活発になっている。
	変わらない	百貨店（営業企画）	販売量の動き	・店舗全体としては前年同月比で前年割れとなっている。原因は食品フロアが改装のため閉鎖し、その分売上がダウンしている。しかし、衣料品は対前年同月比プラス3%、高額品はプラス10%と貢献している。まだ本格的ではないが、消費税増税前の需要が徐々に高まりつつある。食品を除くと3か月前と同様に堅調と言える。
		コンビニ（経営者）	単価の動き	・客単価が低下しつつあり、節約をする客が増えている。
		コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・例年より寒かったためアイスの売行きが悪かったが、その他の主要部門においては前年並で推移している。客単価もこの数か月、ほぼ前年並みで推移しており、購買に関しては安定していると感じる。たばこの駆け込み需要も今後見込めるので、売上の極端な減少は無いと予測する。
		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・消費税増税の前の駆け込み需要が感じられる。
		その他専門店〔楽器〕（経営者）	販売量の動き	・中国や台湾、韓国などの外国人の観光客が増えている。日本人の観光客の数は多少はいるが、リピーターも多いので新規の客としての商品の購入には結び付かない。従来顧客の問い合わせは増えている。例年より売上が増加という感じはない。横ばいがやっという感じである。
		通信会社（サービス担当）	単価の動き	・販売の動きだけみると、良くなるかわからない。毎月良くなったり悪くなったりの繰り返しである。
住宅販売会社（代表取締役）		販売量の動き	・前年9月の、消費税増税に関する建築工事の駆け込み契約があり、手持ち工事が多い。	
やや悪く なっている	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・例年より寒くて雨も多く、来客数の伸びが悪い。	
	その他専門店〔書籍〕（店長）	販売量の動き	・駆け込み需要で儲かっている業種もあると思われるが、当業種ではそれを感じることはできず、むしろ販売量は落ちている。	
	悪く なっている	その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	それ以外	・観光客はかなり増えているが、地元客は平日、大型大衆居酒屋より、料理に独自性のある小規模店に流れている。売上自体は前年並みであるが、原材料の値上げや客寄せのための赤字メニュー、イベントによる負担増大等に伴う原価率の上昇、採用の不調、人件費の高騰などもあり、営業利益がとれない厳しい現状になっている。
企業 動向 関連 (沖縄)	良く なっている	食料品製造業（総務）	受注量や販売量の動き	・消費税増税前の駆け込み需要をねらって各量販店での特売が盛んである。一方で、原料高による原価上昇が続いている。
	やや良く なっている	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新築住宅の申込件数が増加している。

	会計事務所（所長）	受注価格や販売価格の動き	・消費税増税前の駆け込みなのか、高額購入が相次いだり、法人の決算対策の支出も積極的である。	
変わらない	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・工事向け出荷は、公共、民間共に前年比でやや減っている。	
	通信業（営業担当）	取引先の様子	・システム開発については景気が上向いているというのが業界営業担当者の共通の認識である。弊社は、IT業界の家電等のテストング業務の会社であり、仕事はあるが、小規模で安価なものがほとんどで景気が良いといえるものは無い。	
やや悪くなっている	輸送業（本社事業本部）	受注量や販売量の動き	・年末からの残在庫があることから入荷量の調整等が行われ、全体的に取扱量が減っている状況であり、停滞期という状態である。消費税の駆け込み需要については今のところ大きく左右されるほどではない。	
悪くなっている	—	—	—	
雇用関連	—	—	—	
(沖縄)	良くなっている	—	—	
	やや良くなっている	学校〔専門学校〕（就職担当）	採用者数の動き	・年度末に差し掛かっているが、いまだ新卒採用の求人票が届いている。理由は、事業拡大のため、とのことである。
		学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・前年同時期よりも求人数が増えてきている。
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・この数か月、派遣の依頼は一定の件数で、大きな増減はほとんど無い。
	やや悪くなっている	—	—	—
悪くなっている	—	—	—	